2020年度後期 授業評価アンケート集計結果表 【獣・感 基礎科目分】 北海道大学

回答者数	32

			四日日秋					02	
		平均	度数(人)/構成			比(%)			
No.	設問文		1	2	3	4	5	有効 回答	無効回答
			全く思わない	そうは思わない	どちらでもない	そう思う	強くそう思う	四百	凹古
	この授業の自分の出席率は()%程度であった。		ほぼ20%	ほぼ40%	ほぼ60%	ほぼ80%	ほぼ100%	32	
A 1		5. 00	0	0	0	0	32		0
			0.0%	0. 0%	0.0%	0. 0%	100.0%		
40	質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	4. 22	0	0	2	21	9		0
A2			0.0%	0. 0%	6. 3%	65. 6%	28. 1%	32	
	この授業1回(講義の場合90分)のための予習・復習に費やした時間(授業以外の修学時間)は平均()であった。		30分以下	1時間	2時間	3時間	4時間以上		0
A 3		3. 16	5	5	9	6	7		
			15. 6%	15. 6%	28. 1%	18. 8%	21. 9%		
		4.05	0		3	23	6	00	0
A4	私はシラバスの到達目標を達成できた。	4. 09	0.0%	0. 0%	9. 4%	71. 9%	18. 8%	32	
	シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示して いた。	4 05	0	0	2	20	10		0
A 5		4. 25	0.0%	0. 0%	6. 3%	62. 5%	31. 3%	32	
		に満足できるものだった。 4.13 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	,-	0		, -			
B1	授業は全体として満足できるものだった。		0.0%	3. 1%	0. 0%	78. 1%		1 22	0
	この授業は、博士論文研究を遂行する上で役に立った。		0		6	19		32	0
B2		3. 84	0.0%	3. 1%	0. 0%	78. 1%	_		
	この授業は、自分の専攻や関連分野における専門知識の修 得に役に立った。	3. 94	0.0%		3	19	, -		_
В3			0.0%	9. 4%	9. 4%	59. 4%	21. 9%	32	0
	授業はシラバスに沿って行われていた。	4. 31	0.0%		0	22	10	32	0
В4			0.0%	0.0%	0. 0%	68. 8%	31.3%		
	受業で要求される作業量(レポート、課題、予習、復習な ど)は適切であった。		0.0%		3	20			
B5		4. 09	0.0%	3. 1%	9. 4%	62. 5%	25. 0%	32	0
			0.0%		2. 470	25			
C1	授業内容の難易度は適切であった。	4. 09	0.0%	•	6. 3%	78. 1%		32	0
			0.0%	,-	0.0%	23	,-		†
C2	教員の説明はわかりやすかった。	4. 22	0.0%	v	3. 1%			32	0
				り. 0 _{/0} やさしい	適切	難しい	極めて難しい	32	0
C3	教員は効果的に学生の参加(発言、自主的学習、作業な ど)を促した。	4. 19	0		迎切 1	24			
00		4. 19	0.0%		3. 1%	75. 0%	21. 9%		
	教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。	4. 19	0.0%		3. 1% 1	75.0%			0
C4			0.0%	·	3. 1%		21. 9%	32	
-			0.0%	,-	3. I% 0	75. 0% 25		32	0
C5	黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。	4. 22	0.0%	v	0. 0%				
	-0	<u> </u>	U. 0%	U. U%	U. U%	78. 1%	ZI. 9%		

